北支の不况に引換へ

奉天市况繁榮

現金取引で荷動き頗る活潑

中新京に於ける

明鎮 市場に於ては從來對滿洲國商 一七圓小麻子八圓なりき 一七圓小麻子八圓なりき

遼塔和布 東京大尺布 東京大尺布 三路 細 綾

| 101日 | 101日

れ不可能となり商業機闘として重ぎをなしてゐた大間屋は相次いで倒れ、天津邦人側の網糸布商も農村不况による土布機織の原料たる綿糸の買入 れ不可能となり商業機關として、一件を一の質機後に於け

豆油及豆粕前月來引統

績能業悪化

傷者六名を出す

取 人との間には延取引が行はれ
へ てゐたが近來現金取引となり
然も現金をうけた後でなけれ
が は品物受渡しゃ爲さず、又奥
が 地との取引販路も擴まり營口
入 地との取引販路も擴まり營口
入 地との取引販路も積まり替口 |取引||の必要もなくな

全部地場用に使用せられ、豆 粕は大連向け輸出旺盛にして 前月に比すれば常្酸設数量 は稍減少し居るも前年四月に 比すれば可威の増加なり 比すれば可威の増加なり 四月二十三日開始されたボンベイ計士三日開始されたボンベイ紡績等働者の罷業は一ヶで至らす、その間屢々職變を記起し頗る憂慮されて居るが、一十三日龍業勢働者が罷業一十二十三日能業勢働者が罷業一十二十三日能業勢働者が罷業一

豆粕・八圓五〇銭
豆粕・八圓五〇銭
品名 最高最低
品名 最高最低
品名 最高最低 村·八圓五〇銭 七一八圓五〇銭 七一四八〇銭五厘 ・七四銭五厘 滿洲主要都市

小賣物價指數

金融經濟狀况

朝鮮銀行支店調查=

月中平均相場は石鈔票建にてして大連方面に荷勳きあり、前後なり、支那素麵の原料と 一 選九〇銭也 吉一豆 月中出來高は約九車 二、綿絲布市况 の暴落に遂に月初より廿圓縮し、月末に至り折柄銀價旅し、月末に至り折柄銀價 方の安値となり夏行更にな

奥地在 ら現物は相當の賣行を見た綿布は相場稍々保合開散作

梁 米價上騰に朝鮮向輸出活 を呈し當地背後地特に京

蘇子及小麻子

 銭(前月九圓)最低八圓一○ で軍需局では廿七日の海軍記 り、相場は在荷凋澤なる為先であつたが、從來海外に仰い 野好にして大連向出廻相當量あであつたが、從來海外に仰い 野好にして大連向出廻相當量あであつたが、從來海外に仰い 野好にして大連向出廻相當量あであつたが、從來海外に仰い 野田 前月來引續き賣行良 源として生糸の利用を研究中 右側 前月來引續き賣行良 源として生糸の利用を研究中 右側 前月來引續き賣行良 源として生糸の利用を研究中 右側 前月來引續を表表して、 戰時資源さしての 生糸利用發見 海軍記念日に天覽に供ふ 至、軍艦族、落下傘等である 管に供する事となつた、其の 院に供する事となつた、其の 中なるものは軍服、帽子、外 主なるものは軍服、帽子、外 は稍々低落其他の品目に在り

にて最高九圓最低七圓八○錢 月中相塲は一石に附き鈔票建 の爲白粟殆んど大部分を占め

黄粟品不足

となった結果、常地の重要需要先なる率大の販路は一時吉林に奪はれた、加ふるに相場の低落世界的不況等の爲、斯界は漸次不振の傾向にあつたが、昭和六年十二月金輸出再続以來銀の過騰に伴ふ木材相相。 場の漸騰譲いて當地が國都と 場の漸騰譲いて當地が國都と 場の漸騰に伴ふ木材相 中総市場として股盛を他めた して不動産の激落と射築界の 不振に伴ひ不况に沈淪するの 己むなきに至り、爾後年々不 提の度を加へた 振の度を加へた は南瀬線を經由するより翺安により、吉敦材の睾天向運管 蓋平營口

連、撫順、四平街之に重いで

無別報覧の結果日本の産業が 意激な發展を来すと共に、満 対特産物の海外輸出が供に激 型市場として非常な發展を変 ぐるに至つた然るに歐洲大殿 終結と共に不況の襲來する所 となり、海外に於ける需要は となり、海外に於ける需要は となり、海外に於ける需要は となり、海外に於ける需要は

要するに斯界の將来は一に需要するに斯界の將来は一に需

軽り 戦 数 設 計畫 でくれば 数 が は で 数 が と で で は 対 数 本 線 沙 尚 解 海 岸 素 所 で は 対 強 本 線 沙 尚 解 海 岸 素 所 で は 対 強 本 線 沙 尚 解 海 岸 素 所 で は 対 強 す で ある が 之 に 伴 ひ 管 ロ 有 力 者 間 に 弦 を 閉 設 す べ く 計 蜚 や 変 取 し 旅 名 を 目 に 変 引 す べ く 計 蜚 を 進 め 署、營口

(-)

の特産界の衰退と目をう に移り當地は此方面の取り上 に移り當地は此方面の取り上 に移り當地は此方面の取り上 が表現過せずして北鮮を通り、

大大きな貨物の流れを を解過せずして北鮮を通り、 を解過せずして北鮮を通り、 を解過せずして北鮮を通り、 を解過で、大きな貨物の流れを を解過せずして北鮮を通り、 を解過せずして北鮮を通り、 で、大きな貨物の流れを を解過せずして北鮮を通り、 を解過せずして北鮮を通り、 を解過せずして北鮮を通り、 で、今日の如く輪梁の激減 で を解過せずして北鮮を通り、 で、今日の如く輪梁の激減 で のにすぎず及従来當地に出廻 當 を解過せずして北鮮を通り、 のにすぎず及従来當地に出廻 當 を解過せずして北鮮を通り、 のにすぎず及従来當地に出廻 當 を解過せずして北鮮を通り、 のにすぎず及従来當地に出廻 當 に移り當地は此方面の取り上 る關係で、今日の如く輪移入 と を解過したも に移り當地に出る。 を のにすぎず及従来當地に出廻 當 に移り當地に出る。 に移り當地に出る。 を のにすぎず及び来當地に出廻 當 に移りこれに種々の質狀より推 を のにすぎず及び来當地に出廻 當 に移りこれに移る。 を は で、今日の如く輪移入 と に を のにするとこは、 と は で、今日の如く輪移入 に に のにする。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のにする。 のいる。 のい。 のいる。 のい

七

四

綜合經濟情

滿洲事情案內所調查

新京を中心さした

闘心の如くである

輸移出品

待は得られず、九年度に於て相當旺盛を傷めたが非常な期向輸出は

は依然不振の狀態を持續して

も先物商談更に不起越月 二、秦郎勇忠

M 48 17

(土) 日六廿月五

設行

17 A

主なる商品の月中相場を見 事の起りは勞働者の一團が通 の電傷者を出した

を通過せんとし際官隊が之を を通過せんとし際官隊が之を 首んぜず遂に警官は鞭をふるつて退去を命じ、勞働者は 嫌瓦、石等を投げてこれに應 じ多數の負傷者を出したが、 尚職慢は續き警官隊の方は途 に 強砲するに至つたものである 百二億七千五百六十九萬七千 画即ち總額の九割七分は私へ 所得であり、残りの三億六千 八萬八千圓(總額の三分)は 官公營事業所得である、此の 自公營事業所得である、此の 領は百六億三千五百七十八萬 に於る日本内地の國民所得總 に於る日本内地の國民所得總 五千圓一世帯當り八百卅七圓

線、國線、 貨 運行は良好 北線の

勘定となる

不統制云々説は國線從業員の不統制云々説は國線從業員の でゐることが解つた、結局右衛軍事務は寧ろ理想的に運んを満一致可決した程で三線間の

たのであつ

ととになつて だったら、

ひは取返しのつかね

國務院統計處發表 は前月と大差なく保合の状態である。 に依る物價を基準として看る。 に依る物價を基準として看る。 に依る物價を基準として看る。 外に貨車直通規定に不自然な い生じ此の點に就き種々頭を 點があるのではないかと疑問 この生ずることは前記の諸點以 滯料のパーセンテイジも祉禄 線より國線に直通する貨車建 個ましてゐる、一例として社 の必要がありはせぬかとの意 行とは違つた特定法則を設け 力法の如きも社線に於ける国 ても関線のローカルコンデの諸點を一掃するにはどうの諸點を一掃するにはどう

見を述べる向もある、因に服 和八年十月一日より間九年三 月三十一日迄に於ける社線、 幽線の貨車直通が炭光左の如し 関線に直通の使用貨車敷四 三、三五七車使用料二七八

七三五事、使用料四二、三二、社線に直通の関線事數五、 內返還遲滯車數一九、二二 九六 なのに思いて 職性の客と

内返還遲滯軍數二二七車、 (直通總車版に對する割合 四パーセント) と選得料二、〇二六圓(使用 がの女婦に連れ込まれたことを知り戻した。 り戻した。 物は、多勢の人に控がれて、旅 では、多勢の人に控がれて、旅 つた。彼は、 間もなくは

自分のそばに勝官が

付添っつ

時、電川川〇〇世へ

仰一は、膣の動揺で、

箱根へ來ると.

「さらかも知れない

* 自まで傾けすやうな騒ぎになるあるかのやうに若へこ、 動力の落後で 勝代は、かのかか 色をつれて、女親に

その通行人は、他一の触れてい の宿の浴衣に、すじ 「怪しい奴が、彼等の背後に、響 んで居やしないだらうか?」

かき足さ し足

廿廿廿 七六五 日日日

日

四

映畵みるなら松竹映畵高松秀手 共演高松秀手 共演

廿八日

で、うつかり問ってしまったの。 「すると、僕の來てわることも知 あなたの電話のか ちゃらど家へ來てわたものだ いった時、あの

を そして、採金の上にも ――。 そして、採金の上にも ――。 を の時、 雌一つ向いの、二陽座 です。 大変では、 税念は、 既に東京へ帰っては、 税念は、 既に東京へ帰っては、 税念は、 既に東京へ帰っては、 税念は、 既に東京へ帰っては、 税金は、 既に東京へ帰っては、 世本の財産の中でもた。 て疑ひを懸けて行った。 樹本の上に、期せずし

どこを、どう手を拠したものである。

の所得總額 昭利五年間 內閣統計局發表

が、彼は銘に、三人のために飾 信を、俳一は自分の際に持い取りはしない、と 動でさへなかつたら、

正つて行く、その足音 上に触れ代ながら、 まる。町とは反戦の もするのだらう 茂をが、 思はれた。

はれてならない。 只なに、金を出 こや味だからね。何か、彼に勢しさなかつた復讐としては、あまり

のことを能く知つてゐるのが可覚 「見ず知らずの人たちが、あたし

分洋和 ○ 六通條-

廿四日より 廿八日まで

五日間 害夜 を竹二大オール、トーキー を竹二大オール、トーキー 要で 番荷を整合の機作

夢みる頃

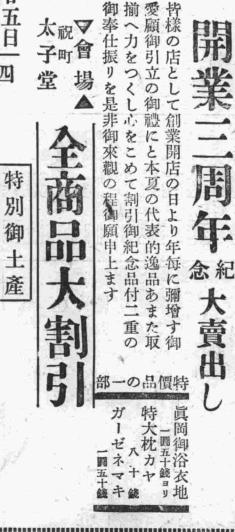
及川道子 大塚君代 日下部章 大塚君代 日下部章 「京士龍子」 「京士龍子」 「京士龍子」 「京士龍子」 「京士龍子」 「京士龍子」 「京士龍子」 「京士龍子」 「京本笠貞之助脚」 「京本笠貞之助脚」 「京本笠貞之助脚」 「京本笠貞之助脚」 「京本笠貞之助神」 「京本笠貞之助神」 「京本笠貞之助神」 「京本笠貞之助神」

京尾 光子 主 演 版東好太郎 飯塚敏子

太祝▼ 子町會 堂 場

上げの多少に拘らず御來場の御方樣には御買 町

洩れなく御添へ申します食卓用蚊帳 一帳宛 北村吳服店 電話二五七三番





◆ ○ 三 行一司 金 三 十 接 份 村 定 的 多 本 一 大 资 照 度 一 司 金 三 十 接 份 村 定 此 名 在 上 2 经 时 定 此 名 在 上 2 经 时 定 的 多 点 十 接 份 村 全 的 多 点 十 接 份

日日業內

古八十二 (荒川 芳三郎書)

あんま

なっけるまで、他一は、内臓と 突然の膀胱をうけて、突厥の数 いふ背景に就いて知れるだけを車

た (唯一は、その夜、やゝ元気を回った) ツー・脳を観き込んでゐる。そのと、 (他) こうな、 (他) こうな (地) にな (地) こうな (地) こ 記憶が眠ると、繁節は急いでは 父の枕もとに行って、

急本人來談で

モヨシ給ニ

を一人の をの人の をありだま

だんく臓はれて気を

復してから、

見習看護婦へ馬

を、微に聞い

他は、

下宿鄉電話



日念記軍海



主

催

新京百貨店

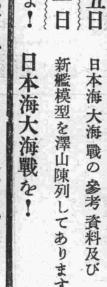
滿 鐵 新京地方事務所

新京各

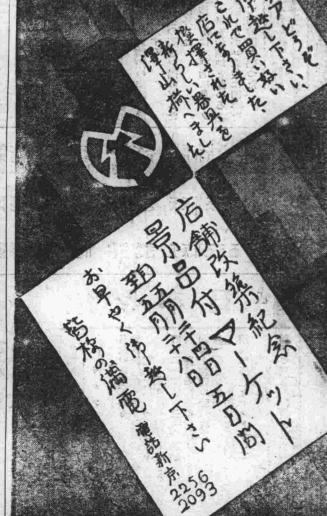
社會



新艦模型を澤山陳列してあります 日本海大海戦の参考資料及び









袁

リイン氏は日本經由來滿し、 補州各地を観察中であつたが 特四日午前十一時参内し 皇 京、京城に向ひそれよりウラ ジボに出てシベリア經由歸國

彩

軍備權平等讓步說を

海軍當局否定

均等な安全感保有にあり

當興所時

西公園潭月池西側 家族子供の運動會

縣人族野遊會

午前十時より

周作霖中將危篤

民の毎年の入國數は其國より最近五十ケ 制限案を通過した、本案によれば各國移 西 四十一對百四十六票の多數を以て移民 異 業本社へ達した報告に依るとブラジル國 一

2

ジル移民主管廳たる拓務省でしたりとの報につき日本ブラレたりとの報につき日本ブラ 協議の上善後措置に出てん 我國は三千 ば今後一ヶ年、過去五十年間に移住せる邦人十五萬人 同二%即ち三千人に限定さ の二%即ち三千人に限定さ れるので昨年の二萬三千に 比し實に二萬人の激減を餘 機なくせられる事となるの で海外興業や南米拓殖並に 大阪商船等民間諸會社の直 接に受ける影響は甚大であ へに制限

十二月

77

平. h, 和昭

【大連國通】中日實業會副總 あ高木陸郎氏は二十五日「5 補海軍大學教官 高木陸郎氏來連

間宮特務艦長 大佐 義尾

て有名なジュール、ソーエルで世界的外交、政治記者とし

見を賜ふ

にて北安鎮軍戍病院に入院加 除中の江省軍騎兵第三旅長周 た霖中將は廿五日に至り病勢 作霖中將は廿五日に至り病勢

後繼内閣首班に

東株の決算

浦伯と會見した漢字形と言言 は第一字垣、第二濱浦内閣の は第一字垣、第二濱浦内閣の 間倒壞後に於ける政権の歸趨 し

受諾を發せ

軍縮豫備會

商開始は確實

佛ツ記者謁

佐々木清恭

學良君狂氣の沙汰 ル 「東京國通」サイモン英外相 が軍縮曾議の豫備曾商を開催 ず、不明の點も 大だ何等具体的に觸れて居ら 十五議會に於て をして居るがサイモン外相の 外務宮局は海軍 がして居るがサイモン外相の 外務宮局は海軍 の上發せられる が取るの意を仄め 待ち、豫備會商 が取るの意を仄め 行ち、豫備會商 が取るの意を仄め 行ち、豫備會商 が取るの意を仄め 行ち、豫備會商

京

日

外務省及ひ本省には公電が 外務省及ひ本省には公電が を住組合輪合會への情報に 依れば事實らしい、元來邦 人移民は非常に同化力に富 んで居るので各國でも頗る 情報 は意外であり、事實とすれ は意外であり、事實とすれ

日滿要人の暗殺を計畵

作霖爆死記念日に



旣

に歡迎

誾

F法可决に林大使より公電に (東京國通】ブラジル排日移

であるといふと下級野中

移民は伯國政府の奬

伯親等の歴史に大汚點を加 もので、今日の如き排日的 もので、今日の如き排日的

(東京國通) (東京國通) 横須賀海兵團長 横須賀海兵團長 一大體艦長 海軍大佐 平一大佐 東帝部田仕被仰付 日消艦長 海軍大佐 中大佐 中一大佐 中一大佐 中一大佐 中一大佐 中一大佐 中一大佐

日

考慮を促

す為

の意見を述べた

廣田外相訓電を發す

は來る六月四日の張作霖爆死 組織したが右决死際は去る十 した情報によれば目下北平に し滿洲國當路の日滿要人を暗 した情報によれば目下北平に し滿洲國當路の日滿要人を暗

率だが結局は排日移民を目を受ける、表面は各國同比 の三萬より三千四百に激滅 の三萬より三千四百に激滅 は我移民一年人國數は現

横須智鎮守府附大佐補天龍鑑長

満洲國を承認せん

諸外國の

サ國の投じた一石の影響

同井氏論文の

七萬餘でコート案に依れ去五十年の我が移民数は

五日夫々手留彈、参行等を密むた模様である らは總裁の所望に依り鶉一駅の植物水草一瓶、梅屋旅頭かの植物水草一瓶、梅屋旅頭か機で離承、錦州に向つた、番 た林總裁は午前七時酸の飛 林總裁離承 胴亂一杯 見地から英國政府は愈々豫備に控へ海軍の成功を確保するに控へ海軍の成功を確保する

日米南國と解されるが、英政

成との間に重要交渉を開始し

が、変渉の相手國は主として

が、変渉の相手國は主として

を贈り趣味の總裁振りを遺憾

る、尤も海軍縮小會議へのの二項目に就き電要諮詢政 機備的折衝は關係各國駐割 の外交値節を通じて多邊的 の外交値節を通じて多邊的 に遂行される見込で、現在 の處特に日、英、米三國の代 表を網羅した豫備會讓を開 く意圖はないと觀られる、 右英日政府の戀議に對し米 國政府は旣にかかる豫備的 會議を歡迎する旨意志を表

▲金壁東氏(新京特別市長) 二十五日午後四時三十分酸大連へ 大連へ 大連へ 大連へ 大連へ 大連へ 分着奉天から の着奉天から の着奉天から の着奉天から

本のやつ

ではいると食堂では炊事では、 を歩く足音がして「ちえい、 やつてやがら」と云つて行過 ぎた、又一人來で同じことを でた、又一人來で同じことを でか多くなつてその内の一人 いやつてやがら」などと言ついやつてやがら」などと言っいち來たりして鼻をひく行つたり來たりして鼻をひくなくさせて居る奴だの「ちえいくさせて居る奴だの「ちえいやの」という。

蘭會商

日は總督と會見六日より、蘭印政府は翌四日及の議定で

やる事には反對したが食ふこ

六月六日から開

承認して來る奴があるには罪がないんだ」といれ、その中に「どうも日では難がないんだ」といいが、といいない。

長岡全權は三日バタビヤ着

は日ソ開戦の幻影に脅へ、中したる情報に依ればソ聯當局

製を與へ國際聯盟は不承認决 「製を與へ國際聯盟は不承認决 「大いに體面を付がさ 一れたかの感を懷きヒステリッ を開がすんがため今回の措置 を開がすんがため今回の措置 を開がすんがため今回の措置 を開がするが、サ を開がするが、サ

の論文の一節に於て次の如き國は滿洲國を承認するか――

正と密接な關係を持つ大國で ルバドルのみでなくもつと東

は馬肉のすき焼だぜ」と言った、他の者が「變なものはよ 番は「何が變だい、吾人は肉 を喰はざること故に日ありだ お互にすつかり營養不足ぢゃ

洲國攪亂を策す

共産黨を使嗾満

國共產黨を使性

二十八日附夕朝刊を恒例により休刊致し二十七日は海軍記念日につき祝意を表し

の反對を押切つて了つた、扨を斷行する」と頑張つて一同 である × × ×

海軍記念

日休刊

新京市况

日

現成學 高大特 產 現 物 票 票 勢 泰 票 勢 物 票 勢 物 票 票 勢

改

ソ聯は若干の譲步をする

ユ大使外相と會見

豆

交涉

10

して「相當時間はかかる」と 承認するか」と云ふ質問に對 と云ふ質問に對して私は「勿

「列域は満洲國を承認するか」

或日のこと炊事當番が「今日 或る學生合宿所の實話である

領事長岡全権間に無電で打合

宇垣總督有 清浦伯民政黨幹部に所懐 信の意見として 最早老齢の自分が出る幕で はない、後継首相は宇垣總 で最有力だ 目ぼし 治外法權撤廢の準備も窺はる 受『車ご上京する事となった 十八日 東上 十八日午後零時四十分京城驛 十八日東上 宇垣 ロ、これは治外法權 関、これは治外法權 して千七百名 の▲外 ものを一

平等確立を要求するものに 我が海軍は依然として軍備

態度に何等變更を加へた事電縮を達成せしめんとする均等な安全感を持つ如き

★大連煙台向:

滋賀縣人緣野遊會

●費及引換代として金二圓御持参の事 ● 電天の際は室町公學堂の豫定 ● 電天の際は室町公學堂の豫定 ● 電子の際は室町公學堂の豫定 一、辨 當は御持參の事 一、辨 當は御持參の事 一、辨 當は御持參の事

「東京國通」ロンドン特電が 一九百三十五年の海軍 は 職地に於て別個に行はれ、右 交渉に於いて日本は海軍力の 平等率要求を譲歩したとの報 平等である。

令)二十六日午前八時三十 分發客門へ 一十六日午前九時發遊陽へ 二十六日午前九時發遊陽へ 一十六日午前九時發遊陽へ 一十五日午後十時發 大連へ

出安面引

海向三

申上候は家族同伴御出席仁下度此段御通知右の通り野遊會を開信仕候間同縣人

ダー茶及湯大學 備しあり

新京室町公學堂前炭安商店內

大分縣人會事務所

老年官吏の氣嫌とりとも思されてゐる
との他文教部の映畵局設置、古跡名稱記念物保存、民政部の縣官吏俸給國庫支辦などもあるが、はたしてこのうちどれだけが生き残るかは疑問である。 は露西亜四ケ所、日本は大阪、合北、名古屋、敦賀、門司、清津、京城、の七ケ所でうち敦賀、門司、清津は名譽領事▲財敷部の國際は名譽領事▲財敷部の國際は名譽領事本財敷部の國際は上海の豫定▲司法部の置は上海の豫定▲司法部の 老年官吏の氣嫌とりとも思かへる計劃らしく▲文教部かへる計劃らしく▲文教部の清朝賞録編纂は一部満人

森洋行

り永ひかぬが可出つ、近く梅雨期に入る、余出つ、近く梅雨期に入る、余

何が出來ましたら御喝采の程日滿要人の暗殺をたくらむ、作霖爆死記念日を卜し、鳳良 なきやを疑ふに大制限、裏に絲をひくものに大制限、裏に絲をひくもの 101503

1000元

機闘相寄り日立日本への留か

第三回

事往來



建

築現

場

技

術 員

數

名

在

社

在新京

3

新京銀座

外交員数名市内ニ確智ナル保證人ヲ契ス御希望ノ方へ左記へ本人御來談ヲ乞フ御希望ノ方へ左記へ本人御來談ヲ乞フが京東ニ條ニ五四金光教會前





月余の改築工事も 漸く竣工しました 回転感的な色彩りの燦然たる 堂々たる装ひ…… 回真に先端的な三四年型を 優せる内部の設備…………… ン グ

皆様に俸ぐる最高の

十五日午後二時ごろ双陽縣

日滿官吏十數名と鐵兜の前門傳達室の厨房近く交

七

宮崎彌三郎氏方抱へ酌婦重の城内西五馬路料亭金城樓こと

Ę

生活改善について

金城樓の

村七名は軍司令部・朝鮮總督 一十七名は軍司令部・朝鮮總督 一十五日午前九時より新京普 通學校に於て民族協和、農村 振興、生活改善の三題目を選 長期、生活改善の三題目を選

重の井さも逃走

記念就賀會

戲 曲

康德元年五月廿五日

參加者九百名

華や

かな行進

當日相應しい催

民代表者 朝鮮居留

座談會

記念講演會は午前九時から十時まで商業學校講堂で、講師は左近允中佐、聽講者は商業中學校工年生以上のため講師は東主計中佐、また同日午後一時から高等女學校講堂で志徳大佐が高女生並に婦人會員

西廣場校で

講演と映畵の

午後七時から

總理、駐滿日本大使、總領事滿海軍部司令官、滿洲國々務

こ、別和八年特別観覧式

盛大なる祭典

四公園で擧行される

田田二十七日は吾等の海軍日で 日首都新京では新京時局後援 は従来の慰霊祭も特に記念日期二十七日は吾等の海軍日で 日首都新京では新京時局後援 は従来の慰霊祭も特に記念日期二十七日は吾等の海軍日 の催しが行はれる、殊に今年 たその記念すべき日だ、この の催しが行はれる、殊に今年 に、當日を迎へたいといふのを日本海に迎へて見事撃滅し 放送など、全市をあげて各種 である に、當日を迎へたいといふのを日本海に迎へて見事撃滅し 放送など、全市をあげて各種 である に、當日を迎へたいといふのを日本海に迎へて見事撃滅し が送など、全市をあげて各種 である に、當日を迎へたいといふのを日本海に迎へて見事撃滅して、第二十十七日は吾等の海軍日で、日本の記憶がある。

今年は一層明るい氣持 盛大に執行された

拐帶外交員 來て捕はる 朝鮮から流れ つてゐる

サ五日午後四時州分新京署成 松刑事が新京朝日通り篠崎洗 布所へ家宅捜査をなすため店 頭に至ると、突然顔色を變へ て裏口から飛出した同店外交 員江田定太郎(四一)の態度 を不審に思ひ本署に連行取調 で、昭和七年釜山に至り 慶商無盡株式會社外交員とし て勤務中同年七月より朝鮮東 蒸温泉旅館業売井薫氏他五名 平本洋行の 毛布當籤發表 和手毛布北端配給代理店たる サ 後來の白衣を廢し色衣を着 生活様式を棄て單一化を圖 生活様式を棄て單一化を圖

より無盡掛金二千餘圓を祉印 新京百貨店内で擧動不審の満二十五日午後三時三十分ごろ

在日留學生

の爲

東京に日満學会

曾設立

妻子を仁川に置き伝

表者、土木業代表者、其他國道局警備員松井榮二氏(二七)の都儀は遺族の到着を待つて二十五日午後三時より國道局警備員松井榮二氏(二十五日午後三時より國 井こと小野山かめ(二四)は二十五日午後六時ごろ前借六百餘圓を踏倒し無斷家出した目下新京總領事館署で捜査中である 盛大な葬儀

各學校で

八氣愈よ湧く 一次競馬

新京第二次競馬大會は二十六 日午前十時から新京競馬場で 発好の競馬日和に惠れ新呼馬 は切つて落された、こり日観 衆は定刻前場内に押寄せ人氣 開場前ファン殺到 一、民族協和について 上發展を期す爲大要左の如き ・上發展を期す爲大要左の如き

一般婦人のために同様講演が

選東北軍閥に對する悪感情を一掃し土地、商租、水路の開鑿は協和精神に依つての開鑿は協和精神に依つての開鑿は協和精神に依つての開鑿は協和精神に依つてを上族と妥協し舊債權債務は関係に対して なる輔導機關設立の必要が

に資する、 () 農閉期を利用の副業を獎勵し農村の振興の副業を獎勵し農村の振興の副業を獎勵し農村の振興を表の製造業の関係を受した。

トに突込んでいきなり電話器ね秘書の子君月給袋をポケッ 干「若し、々々消防除ですかった。一下「若し、々々消防除ですれ、どこですか、エ、何、市政公署は悪、市政公署は 火事ですか市政…

海軍官民合同の記念祝賀會は 常日正午から西腹場小學校で 常日正午から西腹場小學校で 常日正午から西腹場小學校で 別宴中軍歌、有志所感などあ り、一同萬歳を三唱して散會 り、一同萬歳を三唱して散會

専門學校へ 専亜豫備校で日本語を修得後 専亜豫備校で日本語を修得後

||入學||することになっ 極めて少いため、現状の儘進的偏見に支配され勝ちなので的偏見に支配され勝ちなので的に発する機會があせず、中華學生の三民主義 敵せず、中華學生の三民主義より遙かに少數なため、衆寡 ある、豫て識者にこれが健全資格が望めないやうなもので 今後滿洲國の中堅とな

使舘及協和會から各準備委員 嫌鐵、關東廳、駐日滿洲國公 れた、最近東京で、陸軍省、人日滿學會の設立が具へ化さばれてゐたが、この程財團法 一段け || これが準備を進 拓務省、 滿洲へ!滿洲へ!新興大陸景懐しい故國に見切りをつけて

質屋の窓

から諸世相を覗く

好景氣

西商賣上つた

特別がある。 特別がある。 はた三人の青い顔の緊張が、 一時にゆるんで來る平原嬢子 の情にゆるんで來る平原嬢子 でかを掛けて居る、触けつ がた三人の青い顔の緊張が、 一時にゆるんで來る平原嬢子

控訴審判決 前審通、

【東京國通】第二次日本共產 懲役十年

余りあてに

ならぬ

4)

破廉恥な方法に於て社會で佐野、鍋山等は世界無比の

蔽するものだから断乎たる をいさは彼等の反動性を膝 をがさな彼等の反動性を膝

未决四百日通算の判决 だ、我々は飽く迄コンミン處分と徹底的控訴あるのみ サリ前審通り懲役十年下した。右の後裁判長、鍋山等轉向派互頭通 で流出期間は三ヶ月

新京附屬地内外居住邦人の有 位有勵者およひ褒賞受領者は 來る二十八日迄に位階勳等住 所氏名を新京總領事館に居出 らるべしこれは秩父御名代宮 奉迎にて特別の待遇を受け得

前より東京城を襲撃すべく花南は日滿軍の攻撃に邁ひ数日南洋、張雪亭の率ゆる合流腫南洋、張雪亭の率ゆる合流腫 **製約四百樂觀を許さざる情勢** 脚を開始してゐるが、匪團の 概薄及ひ河南溝部落に集結策

型

録進呈

素質リグ

披場開

青 緑ベ 葉 5 西 0 0 間ゴ 頃 K 束 フ p ŋ 相 か な 氣開 分 塲 3

招待券御持参のお方は午後一時頃より御越の潑剌なる皆樣の御越しをお待申して居ります ク 開

0

1 1

スた

西 公 中央ベ 少女事務員二名 C面會は東三條通標語五一大昌公司にてン 3 場

程願ひ

西

テル理髪部 人氣好評 包护. 布宣傳の爲抽籤景品付賣出

輕油、車軸油、

膜子と云つた綺麗ところ支那 での街に相當服ひを見せるで での街に相當服ひを見せるで

経軍少將の講演あり

0

▲説町二丁目三番地石山鹼四 郎氏は二十五日午前八時ご ろ中央通十八 雷地先路上で ろ中央通十八 雷地先路上で

六日開業した大和ホテル理髪部は管薬開始以來二十日になるが技術、サービスの點で人類は俄然昇り、紳士、 混女の利用が非常なもの、なほ新設椅子はアメリカコーケン會社の最新式四脚、マネキュー、パーマネントウキルなどもやる、理髪師は日本橋通りナシる、理髪師は日本橋通りナショナル軒の主人以下四名でや に於て抽籤の結果當籤者决定 既に本紙上に當籤者號及氏名 麼告中にあり、新京に於ては 一等の幸運者二名、二等四名 一等の幸運者二名、二等四名 六月三十日迄に賞品受取に立 本るも品質優良廉價等より籍 なるも品質優良廉價等より籍

って一切揃って豐富個物油其他油類専門

教會集會 新京日本基督

改築竣工開業

Ę

「麗靈に導かれ

どなたも御出席観迎す 吉川 助

、 明 選 年 前 十 時 「 聖 鑑 」 吉川 牧師 「 聖 鑑 」 吉川 牧師 吉川 牧師 古川 牧師

ング

三

新京唯一鑛油類専門の店たる 東等鑛油の北端總代理店で飛り 東等鑛油の北端總代理店で飛り 東京唯一鑛油類専門の店たる 東京唯一鑛油類専門の店たる 泰和洋行の 成町二丁目新京キネマ裏サロしく休業しホール大砂楽中であつたが月余を要し此程見事に完成本二十六日より華々しく蓋開けした。ネオン色彩も 子、松枝、帯

にスリ専門を働いてゐたもの 「年一月以來市内の盛場を中心 「株生れ李桂林(三〇)とて本 「株生れ李桂林(三〇)とて本 「株生れ李桂林(三〇)とて本 であつた 室町校使用者に

の申込に應じて運動場を開放等中からと日曜、祭日を一般室町小學校では週日の午後四

かんることのない

使用後煙草の吸敷や紙屑等をて見童の遊戲の邪魔をしたり かゝることのない樣にと同校常に迷惑をしてゐるから今後捨てて行くものがあるので非 用者の中で、定刻前に使用し してゐるが、近頃では一般使

は特に廣島市拓土館高等拓殖(新京日出時刻四時二分)

現大洋對鈔票對金票

廿七日(日曜日)朝四時より

けふの

つどひ

日の出を拜する

で出した人は一人もありま 番大事なんですが、今年のと云ふ商賣は金の運轉か一 出たら却つて損です、質

しきりにかかる、「モーニングの流れはないか」「七吋のシルクハットがあるか」「安くて良い寫眞機が欲しいが」等々、様々な御註文だそうだ最後にこれから 御利 用する方々のた為に當地質屋の規約 以下七分、五十圓まで六分、百圓まで五分、百圓以上り、 来る、話してゐる、庶民金融機 とこぼしてゐる、庶民金融機 百圓以上四

IJ

グノ

イド

缺點

チ

補

フ

舗裝材料

合辨酒藥王釀造場

一司 御試飲下さい薬王を…

特專

許賣

有位有勳者 特別待遇

特

長

觀優美、色彩自由、耐火、耐震、耐水

强靱、

彈力性豐富、

伸縮、龜裂、

剝離絕無、施工迅速、價格低廉明水 保溫、音響防止、步足輕快

I

平壤 鐵道 病

院馬金釜馬

馬山泉山平安軍小地震

購學下學道

所枝道校廳

平壤女 京 城 慶南消廳 子普通學校

日本車輛會社(客車内) 日本車輛電鐵道會社(客車内) 縣 惠 病 院 院 院 院 院 院 院 院 市 銀 行

東淺慶室淺

京大學病院越常院越常

張合流匪

東京城襲撃か

同同リ

東京極東化學工業所新京城內西五馬路十一號地

リグナ商會新京支店

工場

電話三八七四番

リタオ グイ チル ナル ナル

ある

世界的豫言者 フ ランケ

近頃では新規は全然お預り

ほんとに困つてゐまず

さん一個名 を切り廻し なるさ、女 なるを明野町 なると、女

月日質屋を営ん

時代から當地で

女手一つで店の一切

く行きましたが、今から昨年までは大變

元んど全部流れです。 一、二月のよ

では流れた方が儲るやうに

様から見ると高利で儲る商 賣の様に思はれますが、儲 方ない證據に今、新京だけ でも十軒も休業してゐる位 です、お預けになる方は勤 言つても澤山來ます、世間さんより多いやうです、それからルンペンさんは何と (東京関通) 目下帝國ホテルに滯在中の世界的豫言者とした滞在中の世界的豫言者として知られてゐるトルコ生れっランケン夫人は政界、財界方面より續々押しかけて來るのですつかり商賣氣を出したが當局より無許可の營業罷りな告したが登上したが登上したが登上した。 夫人店開き

午前十一時五十分ごろ自宅一合時價二十週を二十五日こと吉井壽一氏所有自轉事 一個を窃取された 心松町清和洋行鈴木チョさ 銀相場 次至元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 公 告 月二十八日迄二當館二屆出了 邦人中有位者有關者及褒賞受 邦人中有位者有關者及褒賞受 新京(附屬地及附屬地外)在留 新京(附屬地及附屬地外)在留 絶對他。追隨を許さぬ 在新京日本總領事館 九善磁油會社の **恭和洋行 電路三四**六

婦-地心醉-養滋

名前貰つて合辨酒……清く純な粹な酒名前貰つて合辨酒……清く純な粹な酒

理想酒合辨酒藥王 ●滿洲の野に種おろす 0

お 獎

來ました。 李生し芝生の心地よさ陽春の味を講喫し家庭に野外に朗かな春が 長き密蔵より開かれた春 滋養になつて御婦人にも御相手出來る合辨春を朗にするは酒!!

ダ > ス ホ

ル

及

10

御申込はチケツト賣場まで 一個 (紳士婦人各々ンスを催します) 一個 (紳士婦人各々シスを催します) ヤ グ ンス 0 催し・

1 (隔日教授) 二二、000個個個

・テ

は正午より三時まで)
正午より午後四時までへ 教師 擔任

ー半一 日ケア 日月月 券券料 金土亩

教

教授 月火 日間水木、 タ



構造一意匠一鑑定

大連市連鎖街 電話 |||||| || || ||

宗像建築事務所

新京西五馬路廿一號 電長四九四六番

大工逆與並,左 自道與式

夢しのペアー

是非御用命を

▲出前迅速▼

自席部

設けました間

一般御料理

仕出さる

廣告の御用は

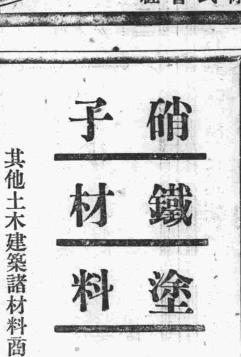
電話三二〇〇番

田七

部理修

庖丁及物研 一 式

屋商行山張所



新京ダイヤ街老松町

天野

内地より一済専門の裁判師

電話長二九六七番

二名増員しました!!

節な感効し…

家族的に…!!

御引受けるし 人应它 『ドライは過去の質績より

最優良品と認む

高田義一郎先生



「臨床試験の結果國産品中

御

推獎

ドライは最も優秀なり

婦人共立育見會編問長 **BBBB** 中鉢不二郎先生。

ります 各部専門技術員を以て御待申して居 ののである。 皆様より好評を戴いて居ります

(日)日七廿月五 和意 日本 企会 保証 發行所 8 2 9 8 4 7

17 A A

讀高G聲

歡迎

新京日日新開社 新京日日新開社

の豫定であるの豫定であるの豫定である 賽馬クラブ

室町尋常高等小學校訓導に任 高 島 實

<mark>
吶</mark>洲國新年度豫算

歩調を辿る

财

適實に

自然増收を計

田三百天地 清原縣開墾水

員會組織

満洲棉花の

獨占買付排除を決議

商工會議所議員會に於て

水利調停委

歳入の缺陷補塡のために

借入金は一

切せず

林總裁飛行機で

(奉天國通) 南原縣よりの報告によれば今春同縣管内に於ける春期開墾水田は三百天地に達してゐるが、給水作業上に達してゐるが、給水作業上の一個大人有力者の手によりで、 が利調停委員會が組織された

山城鎮、通化

↑ 狂 に『三號、 臨官席の英 服のま」

ってゐる、昨年秋霞馬であつってゐる、昨年秋霞馬であつ 型して馬券買ひに取締 、三枚』『五號一枚』 「一枚』 首都警察聴官吏が正ってはっては、然るに新京

中傷はとら 住所氏名を御知らせを乞ふ

では、 のは問題を起しかけたことがある。 が決勝が済んでから百枚だけいる。 多く書き換えられ、容易なら脈絡を 多く書き換えられ、容易なら脈絡を が、

かるので必ず勝つのであらうが、どうも我々すつてばかりが、どうも我々すつてばかり

で騎手と客のさいやきを目撃 する、しかもその客は必ず配 首長だからではあるまい、馬 でいってゐる、八

てゐたらどうするか、次にはもしも八百長が行はれた際或 騎手の問題であるがよく夏店 つて買つてゐるの るのをよくみる 等二本とい

あったやうに思ふがこれ 回競馬の際は一等 かだか三四百程度政府發行の

資滿本 本支 金店店

一億 圓 全額拂込濟) 東京日本橋通室町二丁目一番地東京日本橋通室町二丁目一番地

4

品取目扱

(主) 日六廿 五 (日) 日七廿 月 (月) 日八廿 月 俱 馬 賽京業 新

壹等

六七二二

二枚續毛布

組宛)

五五〇七

七 衛 戌 病 院 中川ふぢ子殿七 衛 戌 病 院 中川ふぢ子殿

二井物產株式會社職

所

つたといふてゐる、

かつこうをつけて

運動會

参等(毛斯御布呂敷壹枚宛)

する通り各國が個別的に折衝いては日本政府が豫ねて希望

て會商を行ふか否かに就いてる、次に三ケ國が一室に會し

も疑問があつたがこの

點に就

五七四一七〇四

新京百貨店 中央銀行 日 中央銀行

田丸森橋

毛本

話

六七四

日、英、米三國の豫備交渉にせんとするものである、更に 海軍省とも慎重審議の上何分 來年を待たず事實上近く其の そものでないので欣然参加 右提議に對し外務省は いてゐるのが注目さ 参加、新京會館の樂隊で景氣 場で催される、此日直木局長 場下局員、關係者等五百餘名 日の呼びものとして大いに図道局新案獨特の珍競技は 道建設競爭、 を添へ盛大に行はれるが、 國道局の懇親大運動會は二十 橋梁建設競爭等

五五三七

田

代給

四等(實用御布呂敷壹枚宛)

大 丸 取 東 洋 難 房

行

店理

六六五五六七〇三 六七七〇二六 七七四〇一六

五六六六五五六七五六七七二七十九九七四八八九九

松本醫院殿 泰利公司殿 路 田 殿 股 世 殿

配滿

北布

下の實情に鑑み、財政の健實 下の實情に鑑み、財政の健實 を期すると同時に國運の進展 に應じ歳入に付ては最も適實 に自然增收を計上歳出に於て は事ら緊要なる事業に主力を 集中し、歳入缺陷補塡の爲め にする借入金は一切之を起さ ざる方針の下に大體左記に依

化方面の機上視察を行び新義 | 三圓二角と决定した | マテより飛行機で山城鎮 通 | く産金買上價格は一瓦につき | 「大連関通」 | 林鶴鐵總裁は山 | 文任仝三員 | 「便格」

產金買上價格

4. 獨占買占めは防止されるやく と 大使舘 軍特務部およひその し 他關係方面へ陳情することゝ

するものでないので欣然参れば帝國政府の方針にも背

るものと觀られ海軍會議

待されてゐる

苦境に陷入ること」なるの

なるので

の回答を行ふ豫定であるが、

以上の諮點が提議の内容で

圍に於て落着するものと觀測されてゐる

開及設備の改善に要する經行政及徵稅に關する制度機

七

片政策實行に要する取締救

方面視察

療及教育其の他の經費に充

臨時總務司長會議の 結果來年度豫算編成は大凡そ左の範

、交通及産業開發の為め國 道建設資源産業開資等各種 の事業諸般の施設に要する 産業開發の爲めにする特殊 産業開發の爲めにする特殊 産業開發の爲めにする特殊

り其の所要經費を計上すり其の所要經費を計上すり其の所要經費を計上す

算全般に渉り増減變更を当

の統一改正の爲め一

度以降の剩餘金の歳入繰人

の殺替、所管の變更、科目の組替、所管の變更、科目

軍縮豫備商議

•

思を有せざるもの、如くであ極東問題をも含めんとする意

測されてゐる 幕を切つて落されるも

企劃局實現確實か

實勢の調査

(上)

科學研究所も有望

海に迎へて、一

一零こ

多これを撃い の艦隊を日

れるが如き太平洋問題その他

伊も参加の

擔の區分等に伴ふ所要經費 制度の改革國費及地方費負 制度の改革國費及地方費負

ユ大使外相と

北鐵問題其他懇談

法制の整備並に警察、司法 ろあつた 【東京國通】ユレニエフ大使は廿五日午後四時外務省に廣田で加上了。

郷大將が率ゆるわが 記念日である、相 世皇國の2 戰にかけて、 興廢を 表發籤當賣特大布毛本日

儒

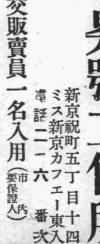
あつた、想ひ起すだに血湧きあつた、想ひ起すだに血湧き 金大川太中成機崎布川 大七二四 大七二四 大七二四 大七二四 大七二四 大七二四 **班**六五三 高萬鐘殿

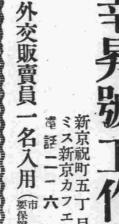
尚本年度も配給本舗に於て目下着々準備を進め居り候 上候 にて抽籤券と御引換相成度候追つて當籤の御方樣は 御序の節本年六月三十日迄に弊店 之が發表の節は倍舊 御厚情を賜り度く右發表 旁々豫告申

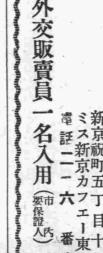


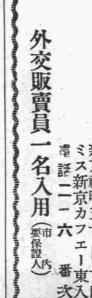
工 目 十 次入四



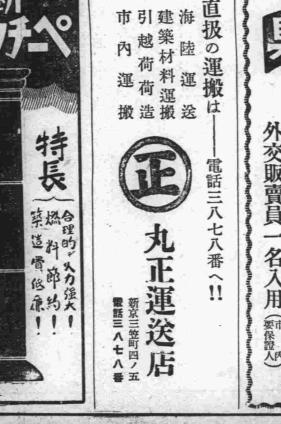












(日

理

移民制限法

はロンドンに於て外交機關を機訓令を發した、豫備的商談

加する旨英國政府に回答する ピンガム氏に對し欣然之に参 四日夜ロンドン駐剳米國大使

米関政府は廿

商議開催方に闘する英國政府

對する主要海軍國間の豫備的 千九百三十五年の海軍會議に 【ワシントン廿五日酸國迪】

題とせられて居らず寧ろ取敢 れによつて事態の經過を見よ や否やと云ふ様な事は別に間 へず非公式的折衝を進めてそ うとする

ものと解される

度豫算要求額中特に注目すべれた二億七千萬圓に上る新年 れた二億七千萬圓に上る新年

査(二百九十萬圓)企 副局きは總務廳主管の國家實勢調

構中第一の改善さるべき重點

政治機

使命が歪曲され勝ちである、往々にして國策遂行の綜合的

いて任意その衝に當ることは

外交機闘を通じ行は

質質に觸れんどする

英の會商内容

(十九萬圓) 大陸科學研究所 (百三十五萬圓) 及ひ 實業部 主管の臨時産業調査局(二千

ーン、トラストの如く常に國で即ちアメリカに於けるブレ

廿四日遂に移民制限條項を百 期に關し政府當路者は廿五日も問題とされてゐる其の實施 廿六票の多數を以

七十一票

左の如く語った

露領漁區競賣入札

漁撈廳で施行

日本側は前回の換算率で競落

(東京國通)海軍々縮曾護豫 容の充實を飼るべく廣田外相 「東京國通」海軍々縮會護豫 容の充實を問るべく廣田外相

所謂依願事件は全く解决を見文東の歸順申込みに依り茲に 大東の歸順申込みに依り茲に

族を掲げ善良なる農民を使嗾【ヘルピン図通】反滿抗日の

より密山に退却の途中勃利に黄沙教に血迷へる謝文東は手

を續ける意思なりしも感で

義を断念し密山に赴き對密

凱旋した廣瀬〇團の飯

世四日可决された移民制限 ・ける事は疑ふ餘地がない、 ・ける事は疑ふ餘地がない、 ・さは唯日本が最も多いからで決 を民数が最も多いからで決 して日本に對し故意に差別 をない事ら其の立場に對する をない事ら其の立場に對する をない事ら其の立場に對する をない事ら其の立場に對する

今回の移民制限條項は諸外

ラジボ漁撈廳で開催され、日本側は二月二十日の入札通 (東京國通)問題の本年露領漁區追加競賣は廿五日正午ウ

落札せるも

が英國の大使館のスタッフ進展する事になれば現在の

事を断念 一年での女を

二十八日附夕朝刊を恒例により休刊致し二十七日は海軍記念日につき祝意を表し

海軍記念

日休刊

ますから御諒承願ひます

あるが、本格的に豫備會商が 称官となつて働く事となつて で参事官加藤外松氏が首席事

の日魯漁業(卅五漁區)昭和漁業(五漁區) り各保證金卅二錢五厘の換算率で競落した、

シア側は不明である

稅捐局事務官

対 轉任稅務監督署事務官兼任を命が 瀬 藤 博

滿洲國辭令

日本を目標こしたものでない 旧國政府頻に釋明

ーも参加するものと期待さ 米の外フランス及ひイタ 行はるべく、他方日、

一定の公式的接備會議を聞く この豫備的折衝を更に進めて この豫備的折衝を更に進めて この豫備的折衝を更に進めて 如きを議し然る後事情に依つ即ち會議開催期日及ひ歩所の即ち會議開催期日及ひ歩所ののまる。商議事項は第一に ては恐らく技術的方面につ 議の主要點は左の諸點と確開 れを嚴秘に附してゐるが右提 提讓の詳細に關しては依然こ

各國代表と

わが代表部の陣容

質的諮問題に就き審議した「軍會議の開催時期、會議の集一、豫備會商は海軍問題の實」 ずる如く、豫備交渉は次期海する

ころ問題とせず

似蘭事件

謝文東匪

歸

順

飯塚少將以下の英靈冥福せん

て玆に豫 て討議せ あつて一部に傳へら

軍問題に局限せんとすの豫備質商に於ては んとするものであつるものでなく、直ち 俯會商の重大性は著 殿題等の形式的問題

つを必要とする諸畢業の立案電景政策並に國家的見地に立 居る、右企劃局に對する政府て各方面の關心の的となつてて各方面の關心の的となつてての中樞機關とし 上の最高統制機關を有力 並に遂行に當り之が立案遂

て各省若くは各部の機關に

の首魁 高を新設することは極めて 東に即した措置であると首肯 ないふにを を ながのである、といふにを 的人事の配置が最、重要とさ

闘を新設する要があるこの見 ころの関連發展の嚴然たる機 地より總務廳の直轄下に企劃 で付きすれば弛緩し易い民心は殊に深いものがある▼この日新京では各種の記念行事が は殊に深いものがある▼この では各種の記念行事が 他しに全市。は勢つて馳せ参 も有意義に迎へたい▼赤帽間 地についていろいろのデマが 地についていろいろのデマが 地についているいろのデマが 地についているではあるまい のではあるまい のでではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい ではあるまい がためである▼数々の をこの際一段と緊張を深めて稍もすれば弛緩し易い民 力の誠意によって成る話で、 山満解決をはかることは あんん

ためには所長自ら るだけの親切は 一方的の誠意では何にも





(=)

(可認物便值郵三第)

一、、柔道紅白試合 一、休 憩 皇帝御退席 一同起立 皇帝御着席 一同起立

一、選手入場 午前十時二十分 一、東賓着席 同十時二十分 一、皇帝臨御 同十時半 率 迎(起立敬禮) 一、皇帝御着席 一同着席 一、大日本劍道形 一、選手入場一、選手入場

宿屋組

商業生徒

締切は本月末日限り

事例少くない又一方積卸數量
お動情載不能となり着驛で手ため積載不能となり着驛で手ため積載不能となり着驛で手

務所では左のやりな手小荷物など多いのに鑑み新京鐵道事など多いのに鑑み新京鐵道事など多いのに鑑み新京鐵道事

事に決定し

二萬に對し六月初旬行はれる一時第二師團長多門中將等將兵變の論功行賞中第一行賞は當

忠靈塔建設費續

々集まる

後六時頃北鐵東部線一面坡附【ハルビン國通】二十五日午

匪襲を受く

手小荷物

運送改善を研究

近どろ事故の續出に鑑み

日七十二月五年九和昭

御來京近き秩父宮殿下

送 (起立敬禮)

後四時盛會裡に閉會した より班民のこの意義ある學藝會は午 洲國チ **安東満倶を**

2000年後零時三十分より満2000年後零時三十分より満2000年減損野球チームを 西公園で試合

開業

として、この程西公園野球場|便りがあつた婦人、子供の唯一の誤樂機関|てるる旨・弟

ダブルヘツダーで擧行されるより新京クラブとの野球戦が、調國チームと、同三時三十分

ベビー

鐵道工事中一面坡附近

成軍出動自 急報に後し

百下敵匪を急追中で ・ 一面坡駐屯の滿洲 ・ 一名即死し

ゴルフ 五十哩の行程で約八時間位づ五十哩の行程で約八時間位づ五十哩の行程で約八時間位づ元山から會寧その他を經て近る二十三日市鮮各地を經て去る二十三日 灣花蓮港玉里街を出發した滿去る三月十日陸軍記念日に台

せんとしたものらしい だものらしく受取人の署名はだものらしく受取人の署名は

近に於て鐵 避路軍及線 延路軍及線

撃を受け直ちにこれ際路工夫は約二百の際道工事中の滿洲國

るも衆寡敵せず 十六名拉致され露

一、列車乘務荷物方客荷扱車 一、通報驛、新京、四平街、 鐵 設

の東側に設備を進められてるたべビーゴルフリングが愈よになつたが、同日は開場されることになつたが、同日は開場技器 脚に委ぜて 遼

信

能美氏近く 十四ヶ村の戸敷 (通遼震)通遼縣内一縣城二 十四ヶ村の戸口調査は縣警察 局主体となり去。五日より各 医警察署を動員調査中であつ たが這程完了戸敷人口は左の

滿洲訪

助二等朴重陽氏は視察のため【通遼酸】中樞院参職從三位 朴中樞院參議 省内地形と

線巡回慰安列車は來る三十日 | 一度山より來通阿夜驛前間場 慰安川 安列車は來る三十日一鐵路總局主催の沿 車べる

時領警分署へ捜査方を願出た を対るとて家を出たまゝ歸宅 を対るとて家を出たまゝ歸宅

家屯温和爾王府へ十三日早朝新妻分署十三日早朝新妻分署十三日早朝新妻分署 馬羊一千萬頭の増殖を討ると 朝鮮人二見童

||名は二十三日午前八時頃 人鄭成煥方普通學校兒童姜【通遼酸】通遼南市場居住 まま不明

地番二目5二 野吉

引越荷物荷造

工事用材料運搬

日目圖公司支店

新京富士町五丁目

本店大連吾妻驛前

海陸貨物運送

中馬三千年氏(鹿児島縣)益 清寮三十號室へ 小林文三氏(山口縣)花園町 五丁目一番地七十三號ノー 名若林幸厳氏(愛知縣)間島から入船町三丁目五番地へ 今院長不二夫氏(青森縣)日出 町一丁目十六番地東愛合旅 合へ 大崎忠質氏(長野縣)曙町四 丁月二番地京長野縣)曙町四 丁月二番地京山方へ

▲門脇吉三氏(樺太)同上へ目十番地二彌富方へ目十番地二彌富方へ

●中山佐吉氏(室町四丁目四番地)三女雅子さん十八日番地)三女雅子さん十八日番地)二十四日午前十一時死日)二十四日午前十一時死亡 地)長女眞知子さん十八日木谷仁氏(東三條通り七番

他ス油油油油油

店理代

電話三四六六番

陸海軍鐵道省指定工

丸善礦油會社

◆飯高壽藏氏(露月町三丁目六十四號ノニュー男和男さんニー三日出生 ◆白石墨氏(大分縣)和泉町三 丁目鐵道建設局 〈 丁目場道建設局 〈 一丁目十八番地光永方〈

萬

人待望

0

好著始

85

て各列車の手小荷物数量を通知すること

すること
取り
觀めて
特種電報で
通報

計箇数を新京鐵道事務所に 當該列車積載の手小荷物合掌には前項通報驛到着の際

一時四〇分 ニュー(日瀬南智

滿洲國大同學院滿洲國地方事情編纂會編

本書は満洲國政府各縣公署日系官吏の手に依つて成り未だ資

事變論功行賞

六月初旬

im,

洲

國地方事情

裝 釘 總 クロース 背 金 女 字 入 菊判上製千六百餘頁 頗美本

は情事方地の國洲滿るむ集を聽視の界世全 す悉知てめ始てつ依に書本 0

べ得をる 欲する士、満洲に發展を志す士は勿論何人も各人一部必備のの他公共團體銀行會社實業家等渾て正確なる満洲を知らんとり職を満洲に奉ずるの士は本書に執務の基資を置かる可、其満土各縣地方に渉りて實地踏査を遂げられたる苦心の結晶な満生各縣地方に渉りて實地踏査を遂げられたる苦心の結晶な料文献なかりし人跡未踏の僻陬の地や匪賊密集の奥地に分け 書と信ず

貴重の文献資料なり 民間に於ては得難き 各地書店にあり品切の節は弊舘へ御

滿洲新京入船町三丁目十 所 大同 印 九番地

電話 一八四一番 一八四一番 本書の内容は絕對に

う。こう、の題客を迎えたる 申越を乞ふ賣切なき内に申込あれ

間 題 0 d. 劇東

月 日 4 u} Ŧi. 日 間 限 長

頃 東 相 3

葉

0

西

IJ H 開 塲

ます 西公園内野球場隣 招待券御持参のお方は午後一時頃より御越の程願ひ潑剌なる皆樣の御越しをお待申して居ります

少女事務員、名 (面會は東三條通熔詰五一大昌公司にて

電話,月賦賣問

活佛の接待に獲物の蒙古料理 に活つとみを打ち午後一時勇 且敢なる蒙古大卷狩の幕を閉 が一路衙門營站に職路のコー

先陣は早くも野兎の出没に 「 を進め丘陵に差掛つた一行の

である

古民族ならでは出來ない妙技

【サービドン「英國」廿五月 サリー庭球選手權大會に出場 せる日本デ杯選手は表合に出場 り、廿五日の準決勝は日本人 同志の試合となつたが結局山 岸西村が勝つて決勝職に進ん だ

だ氣持にて、足音に飛ひだす

日招待を受けた通遼二十有治 気站に向ふ、早くも鐵路附近 管站に向ふ、早くも鐵路附近 にエサをアサリに來たる數十 の野鬼の群水邊の雉子全く彼 ない有様である 阿々」の敷膠を擧げ、一行は 勢子蒙古犬と勢揃ひし丘又丘 の原野に於て原始的蒙古の野 成大卷狩が里余に互つて展開 各丘の山頂に見張の勢子騎馬 の蒙古少年が數頭の蒙古犬を 役へ獲物は何處と鋭い親線を 投げ「ウァー」「ウァー」の

は、蒙古犬の活動の飯捷さと馴練るとも劣らぬ感がある、勢子の言語をよく解し蒙古犬は野 鬼を追ひつゝ互いに連絡をと り野鬼の逃走路を前知しハサミ打ちにして倒す其の疾風的 な技と題脳の鋭さに驚嘆する の他ないし

離馬の背の獲物は次第に敷を 物は益々興に入り一行は各班 を分れ目的地岔金台に向ふ、

に正午百數十を算する獲物を 始めて蒙古人農家の有岔金台 に正午百數十を算する獲物を ※ × ×

末萬、大内モト、大作佐が、田古里公則、竹内武雄、

丁ー十七日(日曜日)放送 二十七日(日曜日)放送 二十七日(日曜日)放送 二十七日(日曜日)放送

中金八、渡邊傳治郎、田中稔、

マ金三十四新京永樂町二ノ六久野清太郎マニ十圓滿洲銀

新京日日新聞社扱

靈塔寄附者

(四)

·圓久芳亨介、金二圓馬塲秀藏、勝津吉朗、金一店行員: 同三十九圓三十錢內譯金十圓杉之原孝

露披場開◇

綠

草

0

間 ゴ

K

かた 1

分

0

コ ま

ス.... た

11

F

7

ブ

氣開

學、六川久四郎、

松永靜夫、祭澤田富松恒藏、

会の表を第二日曜日に茂林

日記のよう

京二、十九女子、扶輪、自體各 がら新京高等女學校講堂で開 から新京高等女學校講堂で開 かれた、参加學校は室町、西廣 がれた、参加學校は室町、西廣 がれた、参加學校は室町、西廣 がれた、参加學校は室町、西廣

聯合學藝會

(日

今日この頃コソ泥スリ犯が横行し盗難被害が頻々と新京署 に届けられる二十六日午前中だけで四件の届出があつた、 當局は犯人挽査に大童である 本市内高砂町四丁目二ノ二三 山田藤吉氏は二十六日午前

金十八圓、洋服時價三十圓金物取された

本城内二道街岡村房松氏は二十六日午前八時ごろ自宅から金泰洋行に行く間滿電バス内で豪口一個在中現金二

で、今年の水稻作の前途は悲ず、今年の水稻作の前途は悲

手權大會

・庭球選

▲若松輝志氏(鹿児島縣)新京 ●中尾重義氏(島根縣)率天か の場合では、 のまたが、 のまが、 のまたが、 のまが、 のまでが、 のまでが、 のまが、 のまが、

貸方を通達した

ハルビン警察に對

居

住

消

息

檢黴およひ定期健康診斷を行 ゐるが民政部でも地方妓女の

本選手のみ

準决勝は日

列車でハルピンから哈爾賓衛二十五分着

▲説町二ノ一五矢野男秋氏は

看護兵凱旋

夜十時酸列車で内地凱旋の 病院の看護兵〇〇 智

車で吉林から獨立○○隊の將二十九日午後七時三十分着列

閉

なったが指揮官は王軍政部大長で六月二、三の兩日現場において兼行演習をするはご

コツ泥頻々横行で

西廣場小學校では来る二十

検徴を行ふべく計畫をたてゝ

らみても衛生上から

Щ

岸

四七四一六三 藤 三

倉

政部から調査方を通達

午後三時から同校講堂で今廣場小學校では來る二十九

年度父兄會總會を催す

山城鎮方面稻作

風紀上からみ みても面白く 急ぎこの程こ すべく各省、 なく各省、

西

村

旱魃で悲觀

大連埠頭倉庫に

新京署逮捕に大童

きのふ午前中だけで四件

で風呂敷包在中現金十九圓同日午前九時ごろ自宅玄關

滿宣傳ビラ 多數の反日

の水田面積は千五百天地であせる鮮農の談によれば同方面

獨立〇〇隊

百二十六名が堵列することとら大經路に亘り在京部隊の九に際し滿洲國では中央通りか

校父宮殿下新京御着並に御發

舞ひ(舞踏)などは一時にド

日

日

堵列して歡迎

3

八月二、三兩日豫行

全滿各地

妓女も

京

日う 聞

間屋は一軒しかない、城内 には支那人の間屋が十四、 正は支那人の間屋が十四、 正次つてそのうちに使つて であるだけ、今日はどうしてニ か判る、一度こちらで一厘 かりつる ことげてやるとがする、一度こちらで一厘 でも上げてやるとドッと押 アイト・ドラン △……羽織をおぬぎになると 身體の長所も缺點もハッキリ 表はれます、着付は益々美し く缺點も長所に變へるやうに 工夫なさらねばなりません △……脊がひくくてふとつた

その他毒虫類・蛇・蚤・油・

類忽ち南

全國業店●百貨店業品店にあり

など投げ出してある、 いアイガズル」とねだら いアイガズル」とねだら とカ光つてゐるニーヤか いアイガズル」とねだら

清楚な姿に!

肥つた人の着こなしか

とした着付がよろしい

「ボーロ、ケエーマス」「おれたザルの一方にはサイダの空で、他の一方にはサイダの空がを入れてハカリを肩にブラブッ、一日市内を練り歩くニーャ達も夏の訪れとともに汗とゴミでますます力ない摩をとゴミでますます力ない摩をとゴミでますます力ない摩をとゴミでますます力ない摩をとゴミでますます力ない摩をとゴミでますます力ない摩をとゴミでますますが、彼らボロニーはんかった。 観とバラ鏡の音をジヤラジヤが出てゐる某宅の前に五六人が出てゐる某宅の前に五六人が出てゐる某宅の前に五六人 - 庭も狭い程椅子、卓子、ちよつと中に立人つて見れて、シカメたり、笑つたという鏡の音をジャラジャ

私たちは見る目がないから 数目です、出ても安くつけ ると怒られるし高く買へば 損するしですい今はサイダ 瓶一升瓶、カマス位のもの です、サイダ瓶でうちで四 錢七厘に買つてゐるから三 は十錢、十一錢に買つてゐ たが最近出ないから九錢に 買つてゐます

結局ニーヤ連中は一日どれ位 協つてゐるますか 大てい一日三十銭、四十銭 五十銭といつたコソソした ものです ものです 五十銭賣つて二十銭も儲っ てゐませら、よく働いて顔 でも知つたカフエーあたり に一日に二回、三回行つて 空瓶をよく集めて來てせい ぐ四圓も上げることもない う て一圓五十錢も儲けるでせ ではないです。四圓賣上げ

人参は四つ割にして一寸位の 長さに切つたものを櫛形に切り、玉葱は根元の固いところをとつてから薄くせんに切つ て、鹽少しふつて手で二三回 揉み、しんなりしたところを 搾つて人参やイモの中へ入れ ・青豆を加へ、鹽、胡椒をい 二本、玉葱小一筒、青豆大匙二杯、作り力==馬鈴薯と人参は皮のまま茹でて水氣をとり、馬鈴薯は生温い中に薄皮をむいで、芽をナイフでそぎとり、四つ割にして面をとり

.

女見 習 看 夢 中婦

主婦心得帳

自動車修繕建築金物請負

新京東三條通 本領事館前

長春鐵工所

新京第一の機械場 南 横 一 の 機械場 一 の と か い の と か い の と か い の と か と が に の 請ポン ル負プ

安達地 人名

産婦人科 科 科 科

愛醫院

. . . .

新京電話工業株式會社

・私設電話、增設電話ニ對スル室內設備等 、電信電話用器具、機械及材料品 電話機 ・電話機 ・電話機 ・電話で換機 ・電話で換機 ・電話で換機 ・電話で換機 ・電話で換機 ・電話で換機 ●但城內及南嶺方面ノ御淮文へ特三級 電話三四八三番地

松斯店

切れ味のよい

空瓶買ひのニー

は五人前約二十八錢位ですで、これには普通のソースを、これには普通のソースを、初料費

北

料 燒理

一日の儲けは二、三十錢位

あり、率天に送るものもあ

の駿滴のメチルアルコールを際最後のススギ水の中にホン

を防ぐことに役立ちます

初夏にふさは

イタリヤの旅

個、人参 五、ピアノソロンお家庭で簡單に出來ます

ダイヤ街 (元アリラケ給十名至急募集

強致しますの場合は

電話三四一〇日

番目

ル通り

ユニオンビヤ

ル

全支 那

理店工能

部

販

賣

新東者の御便利のため長州電話月賦室 新京土地建物會社 新京 朝 日 一二四五番 長四八二八番 長四八二八番 三四五八番 三四五八番

粗末なきサービス振り 常に好評を戴ひて居ります!!

樂道食



電人話船 町四四 八丁月

(新京百貨店嶺入)

評品酒清洲 會 新築ー御氣持よる御座敷 キッフ 0八三話蕾



芳香馥郁

用法至便 殺虫安全

六一 七四 七小照 七四 七小照 十二 一四 五十二 五 五 五 五 銭銭 銭銭 銭 銭

用

は お

ζ 11

8

英

頭○三軒養精



互先先番

政友會三多摩重鎮、聯珠四段 加藤 平 加黎縣 知事、代議士 局

一年五〇分 滿州音樂 一時五〇分 滿州音樂 一時五〇分 滿州音樂 一年五〇分 滿州音樂 平 友 于 海 中華 一年五名

●一白の人 大志を懐き目的に向ひて開拓に努むるに吉 ・二黒の人 悪評を立てられ ・二黒の人 悪評を立てられ で行動に鈍りを生ずべき日 申と壬と丑が吉 申と壬と丑が吉

●四線の人 目上の反感は出世の道を塞ぐ情館を失ふな乙と申と亥が吉 ・工費の人 一瞬の喜ひに滿足すれば後の弊苦は繼續す辛と壬と寅が吉 ・六白の人 微細な疵より全 ・六白の人 微細な疵より全 ・六白の人 微細な疵より全 ・ 一時の題を火ふな ・ 一時の喜びに滿 ・ 一時の裏ひに滿 ・ 一時の裏が吉 ・ 一時の裏が吉 ・ 一時の裏が古 ・ 一時の裏がに満 ・ 一時の裏がに満 ・ 一時の裏が古 ・ 一時の見がに満 ・ 一方の人 一時の見がに満 ・ 一方の人 一時の見がに満 ・ 一方の人 一時の見がに満 ・ 一方の人 一時の見がに ・ 一方の人 一般である。 一般である。 一方の人 一般である。 一方の 一般である。 一方の人 一般である。 一方の人 一般である。 一般である。 一方の人 一般である。 一方の一般である。 一方の人 一般である。 一方の人 一般である。 一方の一般である。 一句の一般である。 一句の一般である。 一句の一般である。 一句の一般である。 一句の一般である。 一句のの一般である。 一句の一般である。 一句の一般である。 一句のである。 一

東州一京和田田仏師ラチオの待用は 張破 先 巳 亥 昭 八 廿 月 五 日 八 十 月 四 周

せ

感守いへ埋滅せるれしことは東知 のお記と申す女が牢死いたし、壁

(可認物便郵酬三第) 密告と探索 一七

(四)

日本の

は

るた

たせし亡骸は真天選お高裕びにおっとさぐらしましたるに、掘りい ので、は、は、これので、こは一大事ので、こは一大事の その夜はそのまる立かへり、翌 となりて売男に申っけ、 た大戦でござる 奇外なことをいひ出した。 (機能であるとは、考へられませぬ) ましたが、まさか非人共が研支投

のてったも英天連お高並に小陸城 は非人童族の者が大勢加強いたせ から深くお憩を指し上ます。しからなくお憩をしまった。相方役骸の表 『拥信も、其方が、留ましうご 一切は、ご内部に関ひ上ます

で脱鏡を腕へて、所司代屋敷へ出 遺跡の範には滅足の色が配いて 神山順之進は澄海和尚の常告を 於內鮮滿各地出品共同主催第二回全鮮菓子品評會

等入賞名譽金牌授領

國都之華 吉野町二丁

電話本店三八九二番

森野商店地圖部

向

0

清洲國軍政部發行 國 同 二 十 五 鐘 章

陸地测量部發行

軍政部發行地圖

引保運

品定指御省官諸 金业

前判事

辯理士 mk 等 引地 寅治郎辨護士 E+2 は 引地 寅治郎

〈領事館前妙法寺隣〉新京永樂町三丁目二十一

まったと然味も熱微で分半か。 品備防き弱心の庭家に常 所该排**排下森·赫**木丹仁森中醫 新

柄

着

案

內

夏の洋服と

白ズボン

and the same and t

式

●各種タイヤン修理

門

一きいたしませう。たと一事情ねてお 「一学」や、学師にのみ澄神和の有無を脱鍼べることに一体酸し、が、学師にのみ澄神和にしませう。たと一事情ねてお 「一学、学和島や徳田廟之賜やら一般の物情を認し、が、学師にのみ澄神和

●當店のモット・

般

十木建築請

数平方面

古

買

の職っ、切支が信節はあの湯に帰ってはくあいちゃやつはり見込み

正確 親切 迅速 價 格低廉,技術優秀!!

家をもつてゐるに述ひありません

岸田はぶつた。

大小に不拘御用命の程を

「鬼も田め一間その掘り出たと

の

3

は降つて居りましたし、暗さは暗

類心夫をつれて現場へ先に行って 「一人二人に裏地を使べする必要がある、

電話長四七九〇巻新京入船町二丁目

00

なっを

司

し非一共が設地を除まれしかけの

とやらっそれとも数地中間の

上東まするが、鬼に角姿無事情が見てあつたやらその滅は確かと申

たれから神山は脱町代帯販ぶ用

٤

京

和に於ける浪士の即解し

帯、散歩着、着尺帯、散歩着、着尺

ちどり

や染吳服店 電話ニ五七二番収支新 京 浪速町二丁目

もでつい

御入浴の

準備ある

でひ、そのまま崎の中にいつ

笠三京新

水性塗料の 想的立體塗 株造製料塗城岩

庵 岩。 尔 **騎支店** 造

門話三七三四番

夏物嶄新柄入荷 服のお仕度は今!!

味の素あり

何がなくとも、 のお口にも合ふやう 味の素の調味で 誰が方